

フラッシュ／闪光灯

取扱説明書／使用説明書

Multi Interface Shoe

HVL-F20M

© 2013 Sony Corporation

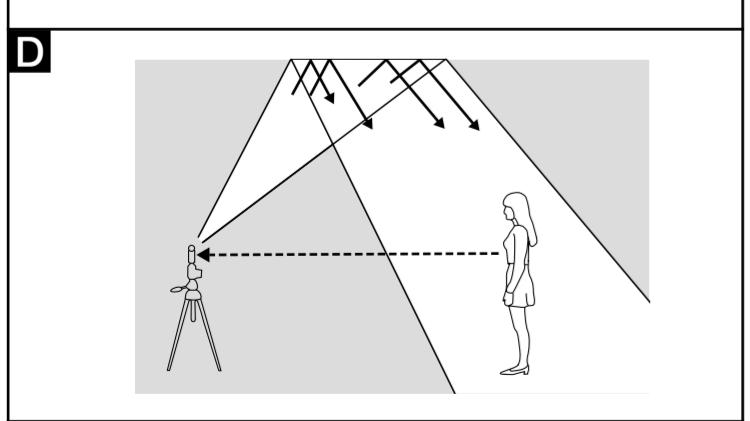
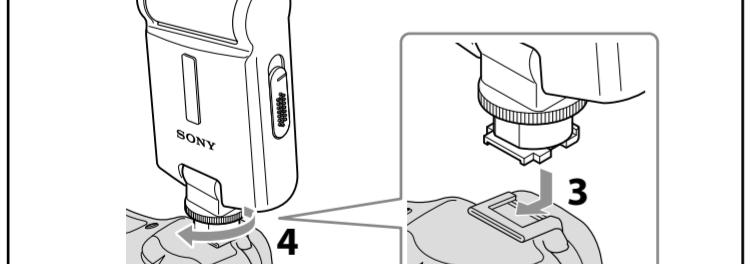
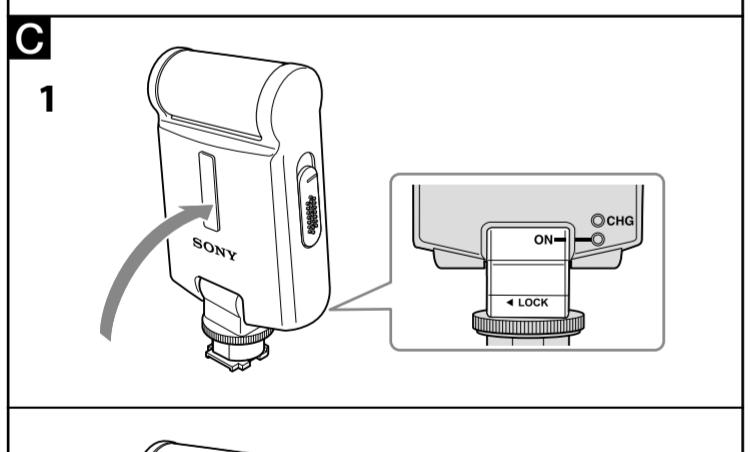
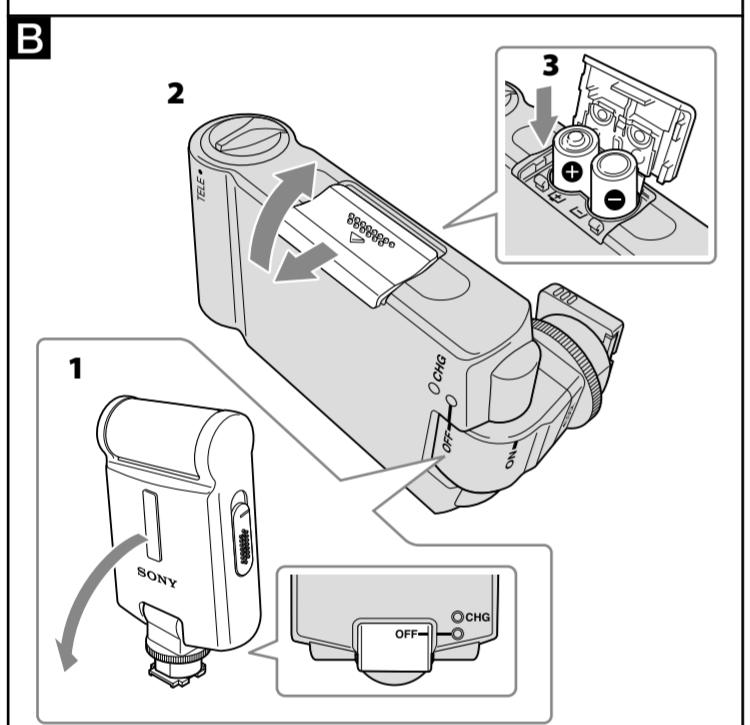
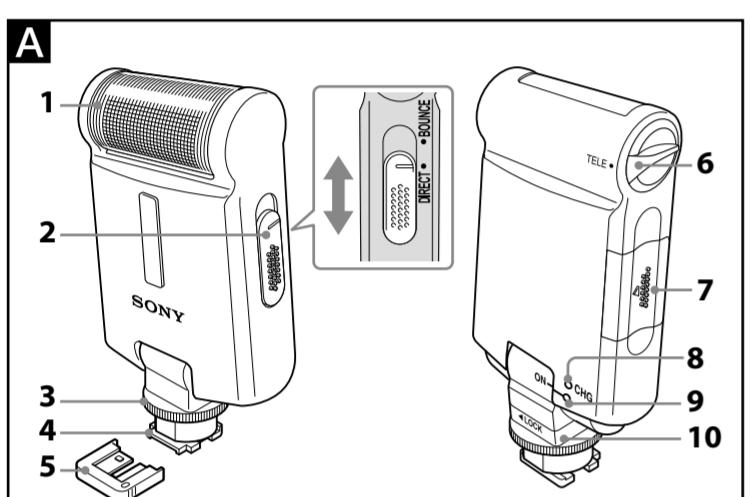


お買い上げいただきありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになつたあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

<http://www.sony.net/>
Printed in China



日本語

本機は、マルチインターフェース搭載のソニー製ビデオカメラレコーダーやレンズ交換式デジタルカメラなどと組み合わせてご使用いただけます。

△危険 安全のために

ソニー製品は安全に配慮して設計されています。しかし、誤った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐため次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使用せず、ソニーの相談窓口に修理を依頼する
- 万一、異常が起きたら

本機が熱くなり、変な音、におい、煙が出たら

- ① 本機の電源を切る
- ② 電池をはずす
- ③ ソニーの相談窓口に修理を依頼する

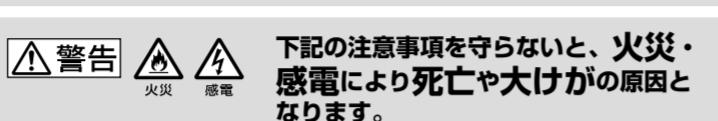
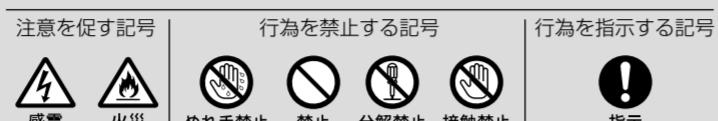
警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

△警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・事故などにより死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。

△注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。



分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。危険ですので、絶対に自分で分解しないでください。

内部の点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この製品は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにカメラ本体のスイッチを切り、本機からはずしてください。ソニーの相談窓口にご相談ください。

本機を布団などでおおった状態で使わない
熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。

発光部を人の目に近づけて発光させない
強力な光は目をいためる恐れがあります。

落下などで、外装ケースなどが破損したときは、絶対に露出部分に触れない
感電の原因となることがあります。

自動車などの運転中にフラッシュを操作したり、運転者に向けてフラッシュを発光させない
交通事故の原因となることがあります。

万一、使用中に高熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、すみやかに電池を抜き、使用を中止してください
放置すると火災や火傷の原因となります。

△注意 **△危険** **△注意** 下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない
上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で本機をさわらない
感電の原因となることがあります。

製品および同梱物を、乳幼児の手の届く範囲に放置しないでください。

幼児の手の届かない場所に置き、口に入れないよう注意する。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

安定した場所に置く
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置いたり、不安定な状態で設置すると、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

発光部を皮膚や物で覆つたまま発光させない
発光のとき、発光部が大変熱くなり、火傷の恐れがあります。

△危険 電池についての安全上の注意とお願い

△危険 漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや火災、火災などを避けるため、下記の注意事項をお守りください。

△危険 禁止

- 火の中に入れない。電子レンジやオーブンで加熱しない。
- ショートさせたり改造、分解しない。
- コインやアビアンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそば、炎天下、高温になった車の中などで放置したりしない。
- 水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らさない。

△警告 禁止

- ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、投げたり、落とさせるなどの強い衝撃を与えない。
- 幼児の手の届かない場所に置き、口に入れないよう注意する。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 指定された種類の電池を使用する。

△注意 禁止 指示

- 乾電池は充電しない。
- 電池を使い切ったときは、長期間使用しないときは、取り出してください。
- +と-の向きを正しく入れる。
- 古い電池や新しい電池、種類、メーカーの異なる電池は一緒に使わない。

△お願い

ニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

Ni-MH ニッケル水素電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
一般社団法人JRCホームページ
<http://www.jrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

お使いになる前に必ずお読みください

お使いのカメラの取扱説明書もご覧ください。

本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません

置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- 异常に高温になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
変形したり故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になることがあります。

主な特長

- 厚さ24mmの薄型設計、簡単コンパクトな外付フラッシュです。
- 本機はホワイトバランス自動補正機能を搭載しています。
- カメラ本体で設定することにより、赤目軽減発光が可能です。

A 各部の名前

- 1 発光部
- 2 BOUNCEスイッチ
- 3 固定つまみ
- 4 マルチインターフェースフット
- 5 端子保護キャップ
- 6 TELEスイッチ(出荷時：スタンダードポジション)
- 7 電池室ふた
- 8 CHGランプ
- 9 POWERランプ
- 10 シューパワースイッチ

本機の状態によって、CHGランプとPOWERランプは以下のように点灯・点滅・消灯します。

状態	CHGランプ	POWERランプ
充電中のとき	消灯	緑色で点灯
充電が完了したとき	点灯	緑色で点灯
撮影後、適正露出が得られたとき	点滅	緑色で点灯
電池の残量が少ないととき	消灯	赤色で点灯
オーバーヒート状態のとき	消灯	赤色で点滅
カメラが④(発光禁止)モードのとき	消灯	緑色で点灯

準備する

B 本機に電池を入れる

本機に電池を入れてから、カメラに取り付けてください。

以下のいずれかの電池を使用します。

電池は同梱していません。

- 単4アルカリ乾電池 2本
- 単4ニッケル水素電池(Ni-MH) 2本

- 1 シューパワースイッチをOFFにする

出荷時はONになっています。

- 2 電池室ふたを図の方向に押して開ける

3 電池室の表示したがって電池を入れる

電池の向きを確認してください。

- 4 電池室ふたを閉める

開けるときと反対の手順に沿ってください。

ご注意

電池ふたを開閉するときは、指などをはさまないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

電池残量のチェック

電池残量が少なくなると、本機のPOWERランプが赤く点灯します。

- 本機のシューパワースイッチ[ON]にしても、CHGランプとPOWERランプがともに点灯しないときは、電池の向きを確認してください。それでも点灯しないときは新しい電池に交換してください。

C カメラに本機を取り付け、電源を入れる

端子保護キャップをはずし、固定つまみがロックされていないことを確認してください。

カメラの電源がオフになっていることを確認してください。

- 1 本機の電源を入れる

本機を起こすと電源が入り、POWERランプが点灯します。

カチッと音がするまで持ち上げてください。

電源を切るには、本機をレンズ側に倒します。(イラストB-1)

一部のカメラ、交換レンズでは、電源オフ時にフラッシュとカメラ、交換レンズが接触する可能性があります。

- 2 カメラの内蔵フラッシュが下がっていることを確認する

カメラの内蔵フラッシュは上がっていたら、下げてください。(内蔵フラッシュ搭載カメラの場合)

- 3 本機のマルチインターフェースフットをカメラのマルチインターフェース

シューに矢印の方向に止まるまでしっかりと差し込む

- 4 固定つまみをまわして固定する

固定つまみは無理にまわしすぎないでください。

取りはすときは、取り付けるときと逆の手順で取りはずしてください。

自動ロックではありません。強い力を加えるとロックがはずれことがあります。

- 5 カメラの電源を入れる

パワーセーブ

カメラがパワーセーブになったあと、カメラまたは本機を1分以上操作しないでいると、電池のため自動的に電源が切れ、本機のPOWERランプおよびCHGランプが消灯します。

また、カメラのPOWERスイッチを[OFF]にすると、運動して本機もパワーセーブになります。(DSLR-A100を除くソニー製デジタル一眼レフカメラをご使用の場合) 解除する場合は、本機電源を入れ直すか、カメラの操作を行ってください。

撮影する

1 カメラと本機の電源が入っていることを確認する

2 カメラの撮影モードを希望のモードに設定する

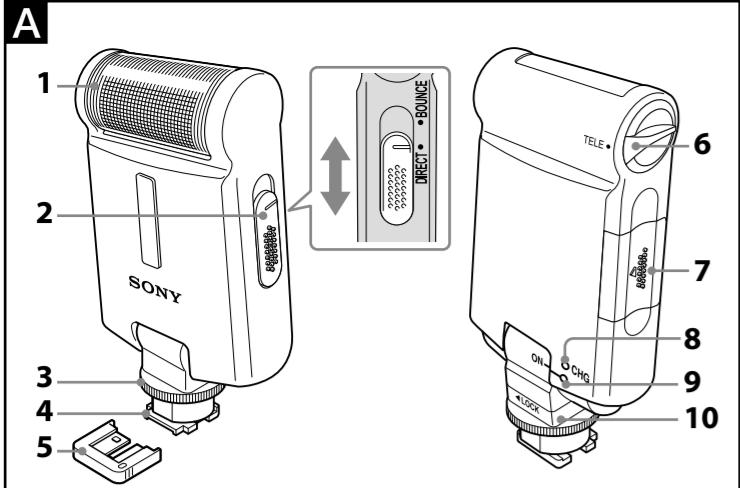
カメラのモード設定については、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

カメラのモードをシャッタースピード優先フラッシュ撮影(S)やマニュアルモードフラッシュ撮影(M)に設定した場合、フラッシュ同調速度より速いシャッタースピードは選択できません。

* フラッシュ同調速度

一般的にフラッシュ撮影時には、これ以上の速度で撮影できないという限界のシャッタースピード(フラッシュ同調速度)があります。

- 3 本機の充



中文 (简)

HVL-F20M 是一款用于具有多接口热靴的摄像机或可更换镜头数码相机(以下简称“相机”的闪光灯。
在操作本产品前,请通读本手册,然后保存好本手册以备将来参考。

警告

为减少火灾或触电的风险,

1) 请勿使本机接触雨水或湿气。

2) 请勿在本设备上放置装满液体的物品,例如花瓶等。

应避免儿童触及,以防误吞。

切勿将电池暴露在阳光、火或类似的极热环境下。

处理电池时,请将电池的触点包裹好以避免短路,并请遵守当地有关处理电池的规定。

请将电池或容易误吞的东西远离儿童存放。如果误吞了物体,请立即与医生联系。

如果发生以下情况,请立即取出电池并停止使用…

• 本产品跌落或受到强烈冲击,使产品的内部裸露。

• 产品发出奇怪的气味、发热或冒烟。

请勿拆卸电池。如果接触产品内部的高压电路,可能会触电。

由于不正常的使用,电池可能会发热或爆炸。

只能使用本使用手册说明的电池。

请勿将电池的正负极(+/−)装反。

请勿使电池接触火源或高温。

请勿充电(除非是可充电电池)、短路或拆卸电池。

切勿混用不同类型、品牌的电池或新旧电池。

注意

操作时请勿接触闪光管,闪光灯闪光时闪光管可能会变热。

使用之前

有关详情,请参阅随机相机附带的使用说明书。

本装置并未采用防尘、防溅水或防水设计。

请勿将本装置放置于下列地方

无论本装置处于使用状态还是存放状态,均请勿将其放置于下列任何地方。否则,可能导致故障。

• 将本装置放置于仪表盘等暴露于直射阳光下的地方或靠近加热器的地方时,可能导致本装置变形或出现故障。

• 振动过大的地方

• 电磁强度过大的地方

• 多沙的地方

在海滨及其他多沙区域或者发生尘雾的地方,应避免让本装置受到沙尘的侵袭。否则,可能导致故障。

特性

- 小型外置闪光灯,采用 24 mm 纤细设计,简洁精巧。
- 具有自动白平衡调整功能。
- 具有红眼消减闪光功能。

A 部件识别

- 1 闪光管
- 2 BOUNCE 开关
- 3 锁环
- 4 多接口底座

注意

切勿用手触摸。

5 连接器保护帽

6 TELE 开关(默认设置: 标准位置)

7 电池舱盖

8 CHG 指示灯

9 POWER 指示灯

10 热靴 POWER 开关

根据本装置的实际状况,CHG 指示灯和 POWER 指示灯的状态按如下所示进行变化:

本装置的状况	CHG 指示灯	POWER 指示灯
充电过程中	熄灭	绿灯
充电完成时	点亮	绿灯
拍摄后获得正确曝光时	闪烁	绿灯
电池电量低时	熄灭	红灯
本装置过热时	熄灭	呈红灯闪烁
相机设置为 ④ [禁止闪光] 时	熄灭	绿灯

准备

B 插入电池

向本装置中安装电池,然后将本装置安装到相机上。

您可以使用以下任何一种电池:

• 两节 AAA 碱性电池

• 两节 AAA 镍氢 (Ni-MH) 电池

电池未附带。

1 将热靴 POWER 开关设为 OFF。

默认设置: ON

2 沿图中所示的方向按压电池舱盖,将其打开。

3 按照内部标记,将电池插入电池舱中。

确保电池安装正确。

4 关闭电池舱盖。

按相反步骤操作可打开电池舱盖。

注意

开关电池舱盖时,小心不要卡住手指。操作疏忽会导致人身伤害。

检查电池

当电池电量低时,本装置的 POWER 指示灯将呈红色点亮。

• 当热靴 POWER 开关设为 [ON] 时,如果 CHG 指示灯和 POWER 指示灯均未点亮,则检查电池是否安装正确。如果电池安装正确,但指示灯仍未点亮,请更换电池。

C 将本装置安装到相机上并打开电源

取下连接器保护帽并且确保锁环未被锁定。

确保相机关闭。

1 打开本装置电源。

上翻本装置直至听到“咔哒”声,这样即可打开本装置的电源,且 POWER 指示灯点亮。

要关闭本装置的电源,请将其下翻。(参见图 B-1)。

关闭了本装置的电源时,可能会触碰到底某些型号的相机或可更换镜头头。

2 确保相机的内置闪光灯处于向下位置。

如果相机有内置闪光灯且闪光灯处于向上位置,请将其置于向下位置。

3 请朝着箭头方向将本装置的 多接口底座牢牢插入您相机的多接口热靴中。

4 转动锁环将本装置锁定到位。

切勿使用过大的力转动锁环。

如需取下本装置,则以相反顺序执行上述步骤。

锁环不会自动锁定。用力转动锁环可将其解锁。

5 打开相机电源。

节电

在相机进入节电状态之后,若超过 1 分钟未操作相机或本装置,本装置就会自动关闭电源,从而达到节省电能的目的,且 POWER 指示灯和 CHG 指示灯熄灭。

此外,如果将相机的 POWER 开关设为 [OFF],本装置也将进入节电状态(适用于除 DSLR-A100 以外的所有 Sony 数码单反相机)。

要退出节电状态,请重新打开本装置的电源或对相机执行操作。

拍摄

1 确保打开相机及本装置的电源。

2 将相机设为所需的拍摄模式。

有关拍摄模式,请参阅相机的使用说明书。

将相机设为快门速度优先 (S) 模式或手动曝光 (M) 模式时,选择的快门速度不能超过闪光同步速度*。

*闪光同步速度是指闪光灯可以使用的最大快门速度。

3 对本装置完成充电后,按快门按钮拍摄。

充电完成时,本装置的 CHG 指示灯变为棕黄色。

如果拍摄后可再次获得正确曝光,CHG 指示灯就会呈棕黄色闪烁。

注意

• 如果在充电尚未完成时进行拍摄,则可能无法获得充足的照明(曝光不足)。

• 在自拍定时器模式下使用闪光灯时,请确保充电完成后按快门按钮。

• 取决于照明条件,当相机处于自动闪光模式时,闪光灯可能不会闪光。

过热保护

过热保护功能可防止本装置过热。如果本装置在连续闪光模式下或高温环境中使用时变热,就会自动停止闪光。

• 检测到过热时,POWER 指示灯就会以 1 秒的间隔呈红色闪烁。

• 待本装置冷却后,才能重新使用闪光灯。

• 当本装置处于过热状态时,请停止使用 10 分钟,以使其冷却下来。

D BOUNCE 开关

如果直接对着墙壁前的拍摄对象闪光,墙上就会出现粗糙的阴影。

在天花板较低的室内拍摄时,可将 BOUNCE 开关设为 [BOUNCE],从而使本装置的闪光管斜向上并从天花板上散射光线,这样可起到柔化阴影的作用。光线从天花板上反射下来,照亮拍摄对象,从而生成柔和的影像。

在室外拍摄时,将 BOUNCE 开关设为 [DIRECT] 可比内置闪光灯照亮更远的距离。

• BOUNCE: 闪光管位于 75 度向上的位置(反射闪光)

• DIRECT: 闪光管位于 0 度位置(直接闪光)

将 BOUNCE 开关滑至所需的位置。

E TELE 开关

如果拍摄对象距离相机太远,超出本装置的闪光范围,请将本装置的 TELE 开关设为 [远距位置] (参见图 E-B)。这样可增大本装置的闪光范围。

注意

• 正常拍摄时,请将 TELE 开关设为 [标准位置] (参见图 E-A)。

• 如果镜头角度比所选的闪光灯角度宽,影像的外围区域就会变暗。有关各个位置的闪光范围,请参阅“变焦闪光范围”。

• 只有当 BOUNCE 开关设为 [DIRECT] 时,才会启用 TELE 开关。

• 如果将本装置安装在有内置闪光灯且将其用作 AF 照明器的相机上,则进行夜景拍摄时可能会极大地降低自动对焦的准确性。

无线遥控

您可以将本装置安装到兼容相机上,用作远距闪光灯的无线遥控器。远距闪光灯是一种与用于拍摄的相机分开使用的闪光灯。

在说明书书中,我们将安装在相机上的闪光灯称为遥控器,而将与相机分开使用的闪光灯称为远距闪光灯。

1 将本装置连接到相机上,然后将相机、远距闪光灯及本装置的电源开关均设为 [ON]。

2 按如下所示设置相机及远距闪光灯的工作模式。

相机:

将模式设为 [无线遥控]。

有关详情,请参阅相机的使用说明书。

远距闪光灯:

将远距闪光灯设为 [无线遥控模式],将无线频道设为 [CH1]。有关详情,请参阅远距闪光灯的使用说明书。

3 设置相机及远距闪光灯。

有关设置方法,请参阅远距闪光灯的使用说明书。

4 确保远距闪光灯及本装置均完全充电。

5 使用测试闪光检查远距闪光灯。

• 闪光灯测试因相机而异。请参阅相机的使用说明书。

• 如果远距闪光灯不闪光,请改变相机、远距闪光灯及拍摄对象的位置,然后重新测试闪光。

6 确保本装置及远距闪光灯均已充电,然后完全按下快门按钮进行拍摄。

注意

• 本装置不能用作远距闪光灯。

• 无法使用控制照明比设置 (RATIO)。

保养

从相机上拆下本装置,然后用干的软布擦拭。轻轻吹走本装置上的沙子。在吹走沙子之前擦拭会将本装置的表面划伤。清除污垢后,请用沾有柔性洗涤剂的布轻轻将其擦掉,然后用干的软布将本装置擦拭干净。切勿使用稀释剂或汽油等高溶解剂,否则会损坏表面涂层。

兼容性

有关兼容型号,请参阅 Sony 官方网站、产品目录等。

使用须知

拍摄期间

• 请勿将闪光灯正对人的眼睛。它会产生强光。

• 请勿连续闪光超过 20 次。否则,可能导致本装置及电池过热,或导致其质量降低。

连续闪光若干次后,应停止使用,使其自然冷却至少 10 分钟。

• 将本装置安装到相机上后,切勿只握持本装置。应始终握住相机机身。

• 在安装本装置的情况下,请勿将相机装入包中进行携带。否则可能会损坏相机或本装置。

• 将热靴 POWER 开关切换到 [OFF] 位置时,小心不要让转轴卡住手指。这可能会导致人身伤害。